

論 說 學 研 究 都 市

建築と社會 第七輯第參號目次

口 繪 野村銀行々舎

口 卷 頭 近代に於ける繪畫界の傾向

△ 建築物の持つ社會的意義に付て . . . 伊藤 正文 . 二

△ 都市計畫の實行 工學士 宗 兵藏 . 六
今果して如何?

△ 震災後の桑港と帝都 建築士 津田 鑿 . 二
の新計畫に付て

△ 「コンクリート」より「鐵筋」 中村 鎮 . 五
「コンクリート」まで (二)

△ 建築藝術に於ける歴史の問題 山崎萬壽夫 . 四

△ 近代都市への蔑視 春日野須摩雄 . 三

△ 震災と都市問題雜記 楠原祖一郎 . 五

△ 新住宅に相應はしい庭樹 方 米治郎 . 四

△ カリフォルニアの南歐 川村種三郎 . 四
風住宅の内部裝飾

△ 關東方面震災被害視察日誌 (三) . . . 小川安一郎 . 五

△ あばいごすの遺跡 工學博士 天沼 俊一 . 五
續「埃及遊記」(三)

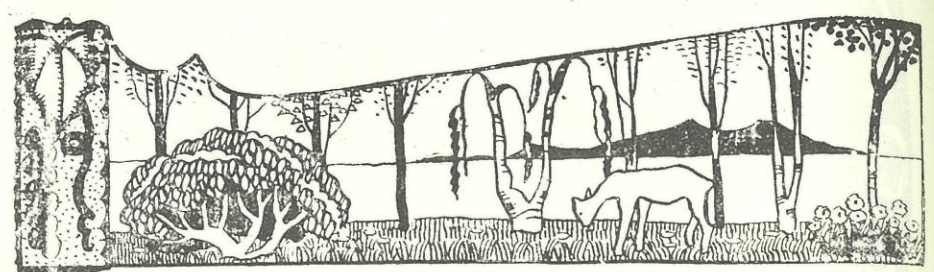
△ Mの言草 偏 心 圓 . 六

△ 復興他話糊塗 工學士 本多 二郎 . 三

△ 建築の創造的理想 水町與志雄 . 六

△ 建築叙情篇 廣岡峰太郎 . 三

日本建築協會二月中記事



住 宅 資 料 漫 錄 會 報

